

2021年7月12日

ICT（情報通信技術）を活用 恵比寿ガーデンプレイスに自動清掃ロボットを初導入 自律走行で安全に清掃品質を向上へ

相鉄企業株式会社

相鉄グループでビルメンテナンス業などを行う相鉄企業(株)（本社・横浜市西区、社長・佐武 宏）では、2021年7月12日（月）から「恵比寿ガーデンプレイス」（東京都渋谷区、以下同施設）の清掃業務に自動清掃ロボット「Neo（ネオ）」を導入します。

「Neo」（以下同ロボット）は、(株)マクニカ（本社・横浜市港北区、社長・原 一将）が販売する、Avidbots（アヴィドボッツ）社（本社・カナダ オンタリオ州）製の自動清掃ロボットです。ICTを活用してあらかじめ記憶した清掃プランをもとに、運転操作を介さず自律走行し、搭載されたセンサーで清掃ルート上の人や障害物を迂回しながら床の清掃を行います。

また、イベントスペースの設置など、レイアウト変更があった場合でも自動で検知。ルートを再設計しながら清掃を継続するため、オペレーションの効率化につながります。相鉄ジョイナスで導入した同機種では、ごみを回収しながら洗浄することはできませんでしたが、本機は回収と洗浄を1台で行うため、施設内を効率よく、より清潔に保つことが可能となります。

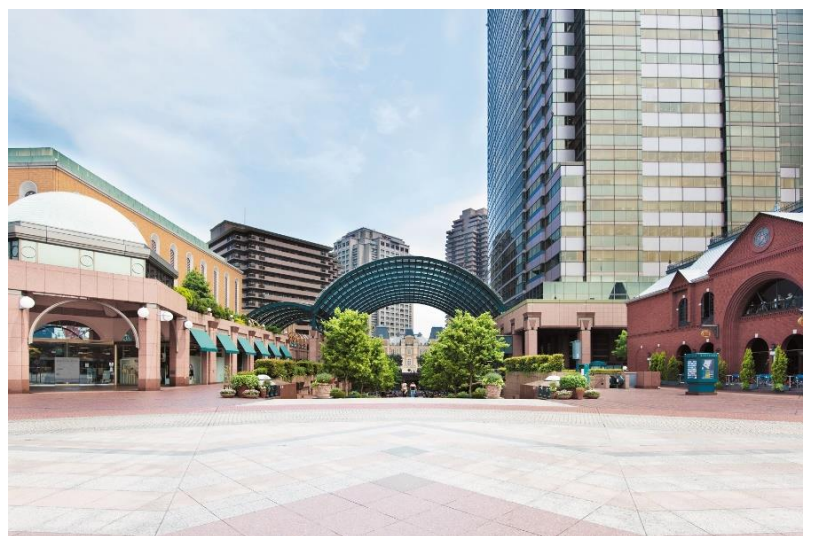
同施設では、共用通路（地下1階、1階など）の清掃を行う予定です。また、同ロボットの外観は、同施設のイメージカラーをモチーフとしたデザインとなっています。

今後は、相鉄企業で管理するオフィスビルや商業施設などにも、それぞれの施設の特性に合わせた清掃ロボットを導入し、施設をご利用されるお客さまの快適性の向上と、施設管理者のさらなるオペレーションの効率化・省力化に取り組んでまいります。

概要は別紙のとおりです。



自動清掃ロボット「Neo（ネオ）」



恵比寿ガーデンプレイス

自動清掃ロボット「Neo（ネオ）」導入の概要

1. 導入開始日
2021年7月12日（月）
2. 導入場所
「恵比寿ガーデンプレイス」
所在地：〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4丁目20-3
運用区域：地下1階や1階などの共用通路
3. 導入機器
「Neo（ネオ）」
台数：1台
メーカー：Avidbots（アヴィドボッツ）社
清掃機能：ICT搭載自動清掃ロボット
サイズ：横幅140cm×奥行き60cm×高さ120cm
連続稼働：約5時間
4. 導入効果
近年、施設の保守・管理において、人手不足を背景に、オフィスビルや商業施設など現場の点検・管理業務の効率化が喫緊の課題となっています。ICT搭載自動清掃ロボットを導入することで、清掃品質と作業効率の向上を見込んでいます。

相鉄企業(株)の概要

1. 会社名 相鉄企業(株)
2. 所在地 横浜市西区北幸二丁目9番14号
3. 資本金 1億円
4. 社長 佐武 宏
5. 設立 1961年11月
6. 事業内容 総合建物サービス業（ビルメンテナンス業、環境サービス業、設備工事業、指定管理者業務）、不動産賃貸業